

# 副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	消防局 (情報指令課)		
2 協議事項 (案件名)	消防防災高所監視カメラ設備の再整備事業について		
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当市の消防防災高所監視カメラ（以下「監視カメラ」という。）は、阪神淡路大震災を教訓に平成 10 年にアクトタワー最上部に設置された。設置から 20 年が経過し老朽化が著しく、修理部品も枯渇し、修理部品の調達について対応ができない状況である。</li> <li>・ 設置後、幸いにも大規模な地震は発生しなかったが、火災や救助など消防活動を円滑に行うための状況監視に活用し、安全かつ効果的な消防活動に大きな成果を残してきた。</li> <li>・ 平成 17 年の合併により、大規模災害が発生した場合に人的、物的に大きな被害が発生する可能性が高い市街化区域が増加した。</li> <li>・ 今後発生が予想される南海トラフによる大地震、津波や大規模火災などの広範囲にわたる災害状況を、24 時間 365 日安全かつ効率的に入手する方法として高所監視カメラ設備の再整備が必要となる。</li> </ul>		
4 検討経過・課題	<p>① 監視区域について 災害発生時の人的・物的被害や市民生活への影響を考慮して、市街化区域を中心に可視化していくことが必要である。</p> <p>② 他の手法の活用について考察 監視カメラは 119 番入電時の初動対応に必要な情報を瞬時に把握できる設備である。また、災害状況の推移をより正確に情報収集できる優れた設備であることから、代替設備は無い。</p> <p>③ 課題 監視区域の拡大により、新たな通信回線の確保が必要となることから、設備費用や維持管理費を考慮した整備が必要となる。 最新の技術やライフサイクルコストに配慮した導入が必要である。</p>		
5-1 方向性の提案	<p>最新技術やノウハウの活用に向けた情報収集とライフサイクルコストに配慮した再整備の実施。</p> <p>平成 30 年度 最新技術やノウハウの情報収集、調達方法・仕様の検討、決定</p> <p>平成 31 年度 整備に向けた準備、平成 32 年度当初予算要求</p> <p>平成 32 年度 整備</p>		
5-2 論点 (方向性の決定に向け議論する事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防防災高所監視カメラ設備再整備事業範囲（規模）について</li> <li>・ 最新の情報収集や共有体制の導入に向けた民間事業者からの事業提案等（サウンディング型市場調査）の活用について</li> </ul>		
6 結果	<table border="1"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 提案どおり進める  <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議  <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める  <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討  <input type="checkbox"/> その他         </td> <td> <p>具体的内容</p> <p>大規模災害なども想定し、危機管理課とも調整して、必要性について検討すること。</p> </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>大規模災害なども想定し、危機管理課とも調整して、必要性について検討すること。</p>
<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>大規模災害なども想定し、危機管理課とも調整して、必要性について検討すること。</p>		
7 その他			